

グレンミラー・フェスティバルに参加しました

井上雅臣(35経)



慶應ライト・ミュージック・ソサイエティー三田会で最年長のOBで結成されている
スウィング・エスクワイアー・オーケストラは、現地で結成されているグレンミラー生誕
地協会に招かれて、6月第二週に米国アイオワ州クラリダ市で開催されたグレンミラー・
フェスティバルに参加。一部高齢者不参加の為若いOBの応援を得て、それでも平均年齢
65歳のグループが堂々とムーンライトセレナーデや真珠の首飾り等のグレンミラー楽団の
名曲を含めたお得意のスィングジャズを二日に亘り演奏し、沢山の拍手とスタンディング
オベーションによる大歓迎を受け、本場の聴衆に楽しんで頂きました。

今年の出演者は、州都デモイン管弦楽団の弦楽器部門を従えたプロのグレンミラー楽団の他、米空軍バンド、ラスベガスを本拠とするスイングバンド、地元で結成された生誕地協会バンド、二年に一度参加するという常連の九州の女子高校吹奏楽部（日本の大会でいつも金賞を取って居る）と我々でありプロの連中も興味を持って我々の演奏を舞台袖で聞いて居たそうです。

人口約 5 千人程度の古き良き時代の伝統を保つ米国の田舎町で、この 3 日間は遠く数時間を掛けてドライブして来たと言う方や、近隣の町から参加される聴衆も含めて町を挙げてのお祭りとなり、素朴なそして心温まる歓迎を受け、参加した我々一同は演奏をそして滞在そのものをすっかり楽しみました。

このイベントは過去 40 年間毎年 6 月に催され、グレンミラーの伝統を受け継いだプロのバンドを始め、世界中、各国からグレンミラーの音楽等を演奏するバンドが毎年数グループずつ参加し、日本からも過去にはブルーコーツ等のプロバンドや、コーラスグループ、それに今年も出演した高校吹奏楽部等が参加しております。

慶應ライト・ミュージック・ソサエティーは第二次大戦直後の 1946 年に結成され、今年が 70 周年にあたり、今回の遠征は節目の良い記念となりました。